

競技上の確認事項

全日本大学バレーボール連盟
大会競技委員長

- 1 競技規則について
本大会は、2016年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。
- 2 競技日程について
競技日程はプログラム記載のとおり、第1日目は開会式・トーナメント1回戦、第2日目はトーナメント2回戦・3回戦、第3日目は準々決勝、準決勝、第4日目は3位決定戦・決勝戦・表彰式・閉会式とする。
- 3 競技方法について
 - (1) 競技は全てトーナメント5セットマッチとする。
 - (2) トーナメント戦3回戦まで(23日、24日)は3ボールシステムとして、準々決勝以降(25日、26日)は5ボールシステムとする。
 - (3) ナンバーパドルについては、競技者交代時の適用は6月26日の男女決勝戦のみとする。
- 4 使用球について
今大会は、男子がミカサ製カラーボール「MVA300」、女子がモルテン製カラーボール「V5M5000」を使用する。
- 5 競技開始時刻について
 - (1) 23日のみ第1試合開始は10時30分とし、24日以降の第1試合開始は10時とする。第1試合目以降の試合は追込み方式をとるので、試合の進行状況を確認すること。
 - (2) 試合開始時刻を15分経過してもチームの選手が6人揃わない場合はその試合を没収とする。
 - (3) 大会期間中、プロトコールは第1試合に限り11分前に開始する。
※大会3日目については、Bコートのみコートの張り替えがある為、その試合はコート設営終了後5分後プロトコールとする。
(4) 第2試合以降は、**前試合終了10分後**にプロトコールを開始する。なお、同一チームが連続試合または、審判と試合が連続となる場合は**前試合終了20分後**にプロトコールを開始する。
 - (5) 6月26日の男子3位決定戦は10時開始。終了後、コート設営、その後**5分後**に女子3位決定戦のプロトコールを開始する。男子決勝においてもコート設営後5分後にプロトコールとする。
 - (6) 大会期間中、**プロトコール開始10分前**より第1試合の当該チームがコートを優先的に使用できる。
 - (7) 待機チームは、前試合チームの挨拶等が終了するまでコートへの入場を禁ずる。
- 6 公式練習について
 - (1) 公式練習の時間は全日第1試合のみ3分、2試合目以降は5分とする。
 - (2) 公式練習前のウォーミングアップでのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないよう注意(**ボールキーパー**配置)すること。
 - (3) 公式練習にはベンチに着席を認められた最大**19名**以外参加を認めないが、そのチームの在席者(クイックモッパー2名)については**ボールキーパー**としての参加を認める。ただし、ユニフォーム以外の統一された服装で参加のこと。
※試合を行っているコートへのボールの進入を防ぐため、審判からの指示に従い、ボールキーパーの人数追加を可能とする。
 - (4) 競技中に、プレーしていない競技者はウォーミングアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることができる。また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでウォームアップができる。なお、競技者はセット間にもフリーゾーンでボールを使ってウォームアップができる。

7 競技者ユニフォームについて

競技規則どおりの競技者番号をつけた統一されたユニフォームを着用のこと。(シューズを除く)ソックスについて、くるぶしが隠れる長さのもので統一すること。**(ペリーショートソックス着用者は出場を認めない)**

8 チーム構成及びベンチ着席について

- (1) チームの構成は、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー各1名、競技者最大14名の計19名以内の着席を認める。13名以上の競技者を構成する場合は、必ず2名のリベロプレーヤーをエントリーすること。
- (2) 選手の変更は、競技者番号の変更を含め一切認められない。
- (3) エントリーは18名登録とし構成メンバー表は試合ごとに最大14名を選抜し、各チームは前試合の1セット終了時**(第1試合は開始30分前)**までに本部エントリー係に提出し確認を受けること。なお、試合が連続する場合は試合終了後速やかに提出すること。(必ず監督のサインを記入すること)
- (4) チーム役員は直径6cm程度の円台の役職マークを左胸部に付けること。チーム役員の服装は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用すること。また、部長・監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーがトレーニングウェアを着てもよい。
- (5) 全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に有効に登録されていない選手及び本大会にエントリーされていない選手が試合に出場した場合には以下の取り扱いとする。
※試合中、試合終了後に関わらず、発覚した場合は、直ちに没収試合とする。

9 リベロプレーヤーについて

- (1) リベロプレーヤーは、他の競技者と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- (2) リベロプレーヤーは、チームキャプテン及びゲームキャプテンにはなれない。

10 スタッフの変更手続きについて

監督・コーチ・マネージャーの変更をする場合は、特別の理由があり当該会場の競技責任者が認めた場合に限り、[臨時役員変更届]を構成メンバー表と同時に提出することにより変更を認める。

11 学生役員について

[公式記録員1名、アシスタントスコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名、ボール・コントローラー2名]の計16名は参加チームの分担でおこなう。人数不足の場合は学連本部へ連絡すること。

トーナメント表上部のチームが記録員・ラインジャッジ・ボールコントローラーを担当する。

トーナメント表下部のチームが点示員・ボール・リトリバーを担当する。

試合途中の交代はできない。

- (1) 学生役員は担当する試合の**プロトコール開始10分前**までに速やかに記録席前に集合すること。
- (2) 学生役員の服装はチームで統一すること。
- (3) 記録員はプロトコール開始前に学連本部より公式記録用紙を受け取ること。
- (4) 点示員は試合前にチームプレートを学連本部で受け取ること。試合終了後は学連本部へ返却すること。
- (5) 第1試合の補助役員は基本的に第3試合の2チームが上記の分担で行う。また第2試合以降は敗者のチームに依頼する。第3試合が第1・第2試合の勝者同士となる場合は第1試合は第2試合の両チームに依頼し、また第2試合以降は敗者のチームに依頼する。6月26日は学連側で手配する。

- (6) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (7) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (8) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢で、座り込んだり・ぼーっと立ったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレイ中ボールを保持すること。
- (9) ボール・コントローラーは、ベンチの反対側に待機し他のコートボールが入り込んで試合を中断させないようにすること。特にアタック・ライン付近からネット際に転がってくるボールに注意すること。ラリー中は中腰姿勢でおこなうこと。

1.2 フロア・モッピングについて

- (1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。また、クイックモップをおく場合は、チームキャプテンがトスの際に当該審判員に申し出る。
- (2) タイム・アウト中、及びセット間にモップを使用しても構わない。

1.3 練習コートについて

練習コートは設けない。

1.4 国際試合に出場する選手について

国際試合に全日本大学バレーボール連盟に所属する選手が選出された場合は、その選手以外の18名と選出された選手を足した人数でエントリーすること。

1.5 別紙参照（「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて）

1.6 その他

- (1) ベンチには飲料、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースは試合中ベンチには置かず、当該コートのフリーゾーン端に置くこと。
- (2) 各チームの応援は、他の観戦者の妨げにならないよう配慮すること。
- (3) 今大会の施設を利用する際、施設内は禁煙です。喫煙については各施設の利用規則を厳守のこと。
- (4) 2016 東日本インカレから、平成28年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則、2016 東日本インカレ競技要項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反行為等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。

以上